

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [社 会]

教科の目標	○社会に対する関心が高く、多面的・多角的に考察することができる。 ○民主主義に対する理解を深め、国民主権を担う公民としての基礎的教養を身に付ける。
-------	---

3 年	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観点	社会的事象についての知識・技能	社会的な思考・判断・表現	社会的事象へ学びに向かう力
	評価の重点	・学習内容を理解できる。 ・資料を活用して学習課題を解決することができる。	・課題を把握して自分の考えや意見をまとめ、表現することができる。 ・多様な意見や考えを認め合うことができる。	・積極的に授業に参加している。 （工夫した発表、内容のある発言や質問） ・作業的な学習や調べ学習など課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに意欲的に取り組むことができる。 ・時事的な問題に関心を持っている。

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	第5章 開国と近代日本のあゆみ 3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業	○開国の影響及び諸外国とのかかわり、明治政府の政策などを通して、近世から近代への転換の様子を理解する。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容、グループ活動での取り組み) ○ノートの状況
	第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代 3節 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本	○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。	○課題への取り組み方、工夫 ○自主的な課題追究 ○定着度確認テスト、定期テスト ○小テスト(語句テスト)
	第7章 現代の日本と私たち 1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展 3節 新たな時代の日本と世界	○冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。	

2 学 期	< 公民的分野 > 第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	○現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、我が国の伝統と文化に関心をもたせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。 ○現代社会をとらえる考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 ○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考える。 ○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深める。 ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解する。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容、グループ活動での取り組み) ○ノートの状況 ○課題への取り組み方、内容 ○自主的な課題追究 ○定期テスト ○小テスト(語句テスト・憲法テスト)
3 学 期	第5節 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	○国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機関などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割を考える。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容、グループ活動での取り組み) ○ノートの状況 ○課題への取り組み方、内容 ○自主的な課題追究 ○定期テスト ○小テスト(語句テスト・憲法テスト)